

3つの創造 30年度当初予算のポイント

1 誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造

防災・減災対策や、安心して子どもを産み育てることができる社会の実現、教育のさらなる充実を進めます。

避難所の環境整備

2億6,574万円

指定避難所の応急給水拠点や津波発生時の緊急避難施設などの整備を行うとともに、大規模災害時に備えた救援物資の備蓄箇所の追加や物資の充実を図ります。

私立認可保育所等の定員拡大等

15億1,797万円

待機児童解消や安全快適な保育環境整備のため、認可保育所等の施設整備に対し補助を行い、31年4月までに440人の定員拡大を図ります。

教育分野での情報化やグローバル化の進展への対応

1億2,900万円

プログラミング教育推進に向け、環境整備や教材の検証などに取り組むほか、外国語指導助手を増員し体制を強化します。

2 産業力の強化による活力の創造

まちづくりを支える強い基盤をつくるため、中小企業の支援や農林水産業の振興を進めます。

中小企業の経営基盤の強化等

4億6,037万円

中小企業の販路拡大や経営力強化等に対する支援の拡充を図るほか、新たにクリエイティブ産業の育成に取り組みます。また、引き続き県をはじめとする関係機関と連携しながら企業誘致に努めます。

担い手の確保・育成

6,438万円

農林水産業の新規就業者に対し、栽培施設の整備や機械の導入等を支援するほか、研修や居住等の経費を助成し、担い手の確保・育成につなげます。

観光リーディングプロジェクト

4,306万円

国内外に向けた観光資源の効果的な情報発信や大分駅を起点としたコース等のプロモーションなどを行うとともに、受入環境の整備を進めるなど、誘客ならびに来訪者の満足度向上を図ります。

3 次なる時代を見据えた新たな魅力の創造

大分市の特色を生かした中心市街地の魅力向上や、地域拠点の機能強化を図り、個性輝く魅力あるまちを創造します。

祝祭広場の整備

4億1,386万円

中心市街地に「集い」「憩い」「祝い」の機能を備えた「祝祭広場」を、ラグビーワールドカップ2019TM日本大会までの完成を目指して整備を進めます。

第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭への取組

2億465万円

多くの市民が参加して楽しんでいただけるよう、大分市の特色を生かした音楽、演劇、伝統芸能など多彩な事業を実施し、新たな魅力発信と文化・芸術の振興を図ります。

ラグビーワールドカップ2019TM日本大会に向けた取組

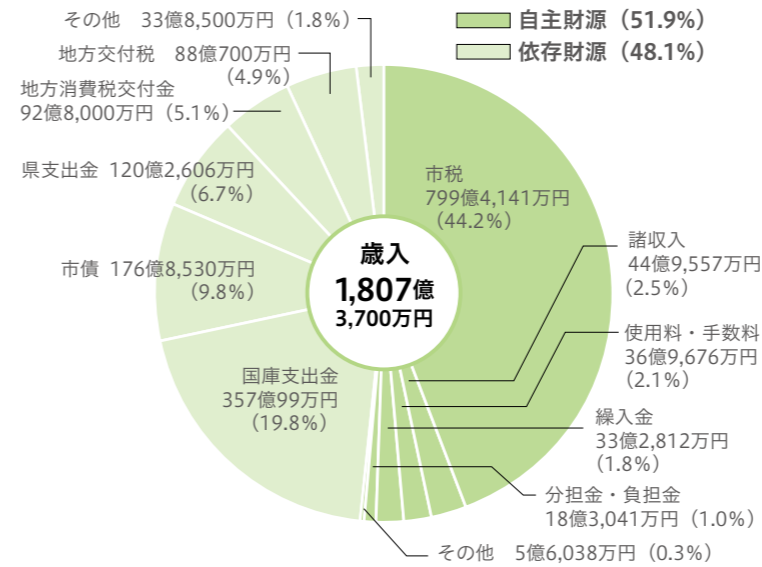
3億3,267万円

ラグビーイベント等を開催するほか、外国人観光客の受入態勢の整備、参加チームのキャンプ誘致などを行います。

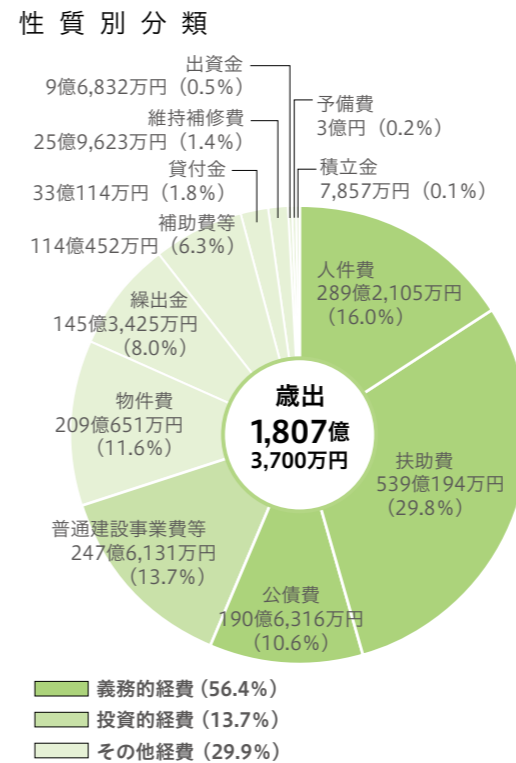
大分市が掲げる「3つの創造」を、国や県などと「連携」しながら「実行」し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

一般会計 1,807億3,700万円
市民一人当たり 37万6,955円

一般会計 歳入



一般会計 歳出



会計別予算額

| | |
|-----------|---------------|
| 一般会計 | 1,807億3,700万円 |
| 特別会計 | 959億1,800万円 |
| 国民健康保険 | 512億5,600万円 |
| 介護保険 | 377億1,000万円 |
| 後期高齢者医療 | 53億8,400万円 |
| 公設地方卸売市場 | 5億4,800万円 |
| その他 | 10億2,000万円 |
| 水道事業会計 | 164億4,500万円 |
| 公共下水道事業会計 | 241億1,100万円 |
| 予算総額 | 3,172億1,100万円 |

目的別分類

| | |
|--------|-------------|
| 民生費 | 764億7,585万円 |
| 土木費 | 219億6,747万円 |
| 公債費 | 190億6,316万円 |
| 総務費 | 184億1,785万円 |
| 教育費 | 146億9,208万円 |
| 衛生費 | 145億9,683万円 |
| 消防費 | 52億6,128万円 |
| 商工費 | 52億1,749万円 |
| 農林水産業費 | 35億6,514万円 |
| 議会費 | 9億3,530万円 |
| 予備費 | 3億円 |
| 労働費 | 2億3,455万円 |
| 災害復旧費 | 1,000万円 |

市債(借入)残高

